

AWS入門

自宅サーバーとの使い分けと
個人運用のコスト設計

AWS

必要な分だけ借りる
公開・拡張のための土台

料金は2026年8月19日確認／1ドル≒159円の概算

AWSは「機器を買う」から「必要な能力を借りる」へ

用途に応じて、サーバー、保存、DB、DNSを組み合わせる

EC2

自由度の高い仮想サーバー

Lightsail

定額で始めやすいVPS

S3

画像・バックアップの保管庫

RDS

管理を軽くするDB

Route 53

ドメインとDNS

CloudWatch

監視・ログ・請求の兆候

自宅サーバーとAWSは、得意な仕事が違う

自宅サーバー・NAS

- 既に機器があれば安い
- DockerやLANの学習に強い
- 停電・回線・ルーターも自分で担当
- 家庭内サービスと開発に向く

AWS

- 購入せずにすぐ公開できる
- 自宅の停電・回線断から独立
- サイズ変更・複製が容易
- OS更新・鍵・バックアップは自分で担当

おすすめは「自宅で作り、AWSで公開する」

自宅NAS

開発・検証
ローカルAI
一次バックアップ

AWS

Web・API
ゲームの入口
外部公開

利用者

スマホ・PCから
常時アクセス

開発成果をデプロイ

HTTPSで提供

料金は「サーバー以外」も合算して見る

サーバー

EC2 / Lightsail

ディスク

EBS / snapshots

通信

外向き転送量

周辺機能

DB ・ LB ・ 固定IP

運用

DNS ・ ログ ・ 監視

最重要

安い構成を選ぶ
より
「消し忘れ」を
防ぐ。

予算通知を最初に設定

個人が始めやすいLightsailの月額

Linux／パブリックIPv4付きの代表的なバンドル

用途	例の構成	月額目安	ポイント
0.5GB	2 vCPU ・ 20GB SSD ・ 1TB転送	\$5 ≒ ¥795	学習 ・ 小さな検証
1GB	2 vCPU ・ 40GB SSD ・ 2TB転送	\$7 ≒ ¥1,113	WordPress入門
2GB	2 vCPU ・ 60GB SSD ・ 3TB転送	\$12 ≒ ¥1,908	小規模ゲーム試験
4GB	2 vCPU ・ 80GB SSD ・ 4TB転送	\$24 ≒ ¥3,816	負荷試験 ・ DB同居

※税・為替・追加通信・スナップショットは別。価格は公式表示を159円/US\$で概算。

EC2は自由度、Lightsailは見通しの良さ

Lightsailを選ぶ時

- 月額を単純に把握したい
- WordPressや小規模Webを早く公開したい
- 最初のVPSとして学びたい
- 転送枠込みで始めたい

EC2を選ぶ時

- Docker構成を柔軟に組みたい
- VPC・IAM・EBSを学びたい
- サイズやネットワークを細かく選びたい
- 将来の分離・拡張を見据える

ドメイン取得先とDNSの置き場は別にできる

用途	例の構成	月額目安	ポイント
AWSで登録＋Route 53	AWSで一元管理	年額＋約¥80/月	AWS資源と密に連携
国内登録＋国内DNS	円建て・国内サポート	年額中心	ブログ初心者に分かりやすい
国内登録＋Route 53	登録と公開設定を分離	年額＋約¥80/月	AWS複数サービスを使う時

Route 53パブリックホストゾーン：最初の25ゾーンは \$0.50/月。DNS標準クエリは100万件あたり \$0.40。

国内ドメインは「初年度」より更新料金で比べる

用途	例の構成	月額目安	ポイント
.com	XServerドメイン例	¥1,721/年	取得0円キャンペーンと別
ローマ字.jp	XServerドメイン例	¥3,102/年	日本向けの印象
Route 53 DNS	ホストゾーン	約¥80/月	登録費とは別

国内レジストラは、お名前.comなども含め、更新料・維持調整費・WHOIS公開代行の条件を確認する。

費用例① テスト時期は「3か月で約2,400円」から

Lightsail 0.5GB

\$5 / 月 ≒ ¥795

3か月だけ使うなら
約 ¥2,385

テスト終了時の確認

- 不要なサーバーを削除
- スナップショットも棚卸し
- Budgetsの通知を残す

費用例② アフィリエイト用ブログは月約1,250円から

Lightsail 1GB

約 ¥1,113/月

.com 更新の月割り

+

約 ¥143/月

=

約 ¥1,250/月

年額目安：約 ¥15,000（税・為替・増加したバックアップや通信は別）

費用例③ 小規模ゲームは2GBから計測して育てる

用途	例の構成	月額目安	ポイント
少人数テスト	2GB + snapshot 10GB + domain	約¥2,130/月	Socket.IO ・ Redis ・ DB同居
負荷試験	4GB + snapshot + domain	約¥4,000/月	CPU ・ メモリ ・ 遅延を記録
段階的分離	WebSocket / Redis / DB	利用量次第	数値を根拠に分ける

RDSはDB運用を楽にする一方、個人検証ではサーバー本体より月額が大きくなりやすい。

最初の30分で入れるコストと安全のガードレール

1

MFAを有効化

ルートユーザーの保護

2

Budgetsを作る

50%・80%・100%でメール

3

鍵とSGを絞る

SSHは自分のIP中心に

4

バックアップを試す

作成だけでなく復元確認

結論

自宅は「作る場所」 AWSは「届ける場所」

まずは月額が読める一台から。
予算通知と復元確認を先に作る。
必要になった時だけ、数値を根拠に大きくする。

次の一歩

- ① Lightsailを1台
- ② Budgetsを設定
- ③ 独自ドメインを接続
- ④ バックアップから復元